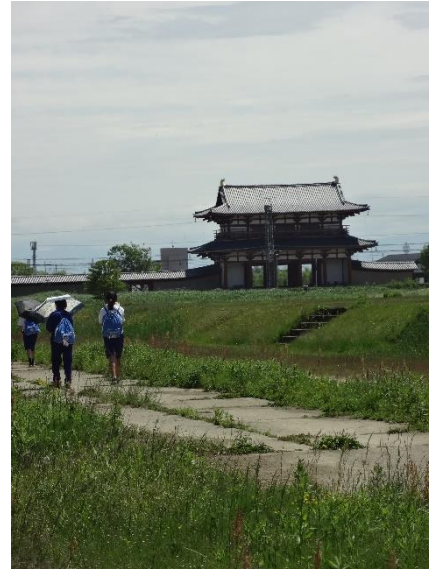


2年生校外学習だより《特別号》

2022年5月11日(水) 奈良・平城宮跡

文責:2年主任 中江 憲一



5月11日(水)、2年生校外学習を平城宮跡方面で実施致しました。平城宮跡についた時にはまだ雨が降っていて、天候が心配されましたが、昼には晴れてきて、水筒のお茶が足りない人が出てくるほど暑くなりました。古代のロマンに魅せられたのか、熱心に学習する人が多かったように思います。事前に立てた計画表を見ながら、次々と目的地に移動するハードな1日になりました。



みなさんにとっては久しぶりの、学校外での活動になりました。日常を離れての班活動、友人との会話、屋外での昼食、電車の乗り降り…。どれもこれも、コロナ禍以前には当たり前の、日常的なものであったものが、新鮮な、めったに体験できないものであるかのように感じられたのではないのでしょうか。コロナ禍と言われる状況に、私たちはもう2年半近くおかれていいます。その中で中学生として、人として、みなさんが本来体験すべきことを十分に体験させられていなかったと、改めて感じました。



同じ学年・学級・班の人たちと話し合いながら物事をすすめていく。このことは、話し合いがうまくいかなかったり、決まり事が自分の意に沿わなかったりすることをも含むのだと思います。



時にはめんどくさいことであり、時には時間がかかることでもあります。しかし、一方で、私たちの社会においても、話し合いに時間をかけながら物事を決めていき進めていくことはたくさんあります。集団行動、友人への気遣い、天候や気候への対応、時間に対する考え方など、様々な場面や状況で、一番よいと思われる方法を採用していくことが求められるのです。一人ひとりが社会（集団）の一員だという前提では、採用される方法が、ひとりよがりの、周囲の人たちに受け入れられないものであってはいけません。時間をかけて話し合うことが、よりよい集団の形成に必要なのです。



※写真は肖像権への配慮から解像度を下げています。

2年1組



2年2組



2年3組



2年4組

